



琵琶湖/西の湖にて

8x10 210^{スリ}

いよいよ本番、いざ。

鈴木 克彦

これも異常気候の範疇に入るのでしょうか？ 6月18日北摂地震6弱。被災に見舞われた方々へのお見舞いを申し上げます。

（これは近畿圏の天候のことですが）くすぶるような悶々とした日々が疎ましい、早く天候が回復してほしい。来年のあの体育館のような原田の森ギャラリー（兵庫県立美術館/分館）に、さてどのような作品がよいのか少なくとも四全倍プリントで飾ってみたいと思っはいるのですが… と、まあいろいろ撮影地のことを考えております。ただ昨今は闇雲に出かけて、取りあえず撮ってくるというわけにも行かず、ココは（頭の中で）作戦会議です。国内の中でもしかもバイテンで狙える景観はいずこに？ 模索中の暗中模索ながら、少しづ

つ脳の中に映像がにじみ出てくるころまでは進んでいます。

やはり撮るからには それなりの心の準備も必要です。前日本写真家協会会長の田沼武能さんの言葉「写真は頭で構図を考えるだけでなく、自分が撮るものに感動しているかどうか重要だ。そうでないと何も伝えることはできない」と。実際には、予定している撮影地の現場に立って、ジックリと細部の下見をした上で、この景観なら行ける！ 見せる写真、見られる写真が可能だ！ と思った時点でやっと三脚を立てて、いざ撮影準備。というシナリオはいかがでしょうか？

くどいようですが、そこまで神経は使いたい。それが自分にも納得した上での判断ですから。会員は高齢化しています車の運転には十分に気をつけて下さい。

定期総会開催延期と 議案書の一部改定について

事務局 松本 憲治

去る6月18日に大阪北部で震度6弱の地震が発生したことにより、6月23日に予定しておりました定期総会の開催を、7月21日に延期することと致しました。総会への出席を予定戴きました会員諸氏へは、既に日程変更を連絡済みですが、本日、全会員の皆様へ日程変更を連絡させて戴きます。

定期総会への出席について、6月15日投函締切にてご返事を頂くようお願い致しました。併せて年会費のお振込みの最終確認をお願いしましたところ、今年度の会員数は45名で確定致しました。つきましては、6月20日付にて「平成30年度会員名簿」を確定・作成致しましたので同封致します。

なお、会員数が当初予定の50名から45名に変更となりましたので、平成30年度の一般会計予算書と展覧会特別会計予算書並びに事業計画書について一部改訂が必要となりました。また、名古屋支部の支部長と会計担当の人事案が決まりましたので、関連致します議案書の6月20日付改訂版を同封致しますので、ご一読下さい。

以上の通り、平成30年度定期総会につきましては、以下の通り日程を変更して開催致します。出席予定の会員諸氏におかれましては、日程ご確認の上、ご出席戴きます様、宜しくお願い致します。

日時：平成30年7月21日12:00開始
(受付は11:30より開始します)

場所：大阪写真会館 5階会議室
(※会議室を変更する可能性もあります)

※定期総会終了後、懇親会を開催します
参加費：3000円 (希望者は当日受付で支払)

デジタル部門の開催について

運営委員 高田 幸二

研究会に出された事案に「本年度、カラー作品が少なかった。今後どうするべきか」がありました。その一因として、会員の高齢化が作品数に影響したのもあるかと思われます。また最近ではデジタルカメラでスタートする人がほとんどで、今後大判フィルムカメラでの作品増加は望めない状況です。そこで日本大判写真家協会もデジタルカメラ作品の受け入れを検討することになりました。

まずは会員所有のデジタルカメラ4種類を持ち寄り大阪中央公会堂でテスト撮影を行いました。テスト撮影には酒井、岡村、高田会員の3名が参加しました。丁度、中央公会堂の入り口上部には「OSAKA KANSAI JAPAN EXPO2025」の横断幕が吊るされており、この部分の拡大画像が検証に使用できます。建物全体を撮影し全倍プリント、A1プリントでの仕上がりを見て、また横断幕部分を拡大して各カメラの解像度の検証を行いました。

【テスト撮影の画像】



大阪中央公会堂



4×5フィルム



D800E



EOS KissX4



D300



Lumix

デジタルカメラ情報と判定結果

メーカー	ニコン
型 式	D800E
センサー	35.9 x 24 ^{ミリ} フルサイズ
画 素 数	3630万画素
ISO感度	100 - 6400
判 定	全倍プリント可

メーカー	キヤノン
型 式	EOS Kiss X4
センサー	22.3 x 14.9 ^{ミリ} APS-C
画 素 数	1800万画素
ISO感度	100 - 6400
判 定	全倍プリント不可

メーカー	ニコン
型 式	D300
センサー	23.6x15.8 ^{ミリ} APS-C
画 素 数	1230万画素
ISO感度	200 - 3200
判 定	全倍プリント不可

メーカー	パナソニック
型 式	Lumix DMC-EZ1000
センサー	13.3 x 8.8 ^{ミリ} 1インチ
画 素 数	2010万画素
ISO感度	125 - 3200
判 定	全倍プリント不可

全倍サイズ、A1サイズでプリントして、全体的な画像を検証しました。また一次審査用にA3ノビもプリントしました。4月の研究会では以上ことを発表しました。紙面では判別しにくいですが会場でのプリントでははっきりと解像度の良し悪しを判別できました。



D300



ルミックス



4月の研究会の様子

また、5月の研究会では東京から榎垣会員に参加頂き、フルサイズのデジタルカメラで撮影した「桜の木」の全倍サイズのプリントを持参して戴きました。ISO感度400で撮影されたものです。大伸びプリントの迫力ある素晴らしい作品で参加者の皆様にはフルサイズのデジタルカメラの凄さをわかっていただけたと思います。

これらの結果をふまえデジタルカメラ作品を受け入れること致しました。35mmフルサイズカメラの有効画素数2100万画素以上で撮影したものは全倍プリントまでの出展を、そして近年デジタルカメラの急速な進歩を考慮し、APS-C、フォーサーズの2000万画素以上で撮影した作品も全紙プリントの出展に限り受け付けることと致します。

今後の研究会日程について

事務局 松本 憲治

定期総会を7月の研究会の日程へ延期した関係で、7月の研究会は中止と致します。

平成30年度の研究会は8月の研究会が第1回目となります、

2019展出展作品の審査は、8月研究会から再開し、9月と10月の3回の研究会で出展作品の審査を完了します。11月研究会では、各会員が10月までの3回の研究会で出展候補作品に選ばれた作品の中から最終出展作品を選ぶか、又は別の作品への差し替え審査を申請するかを決めて戴き、最終出展作品審査を行い出展作品を決定します。

については、各研究会にて出展候補作品に選ばれた作品には「未記入の出展作品データシート」を添付し、提出された原板フィルムは、各会員の手元へ全て返却致します。

(デジタルデータで作品を審査に出された会員へは、トリミング見本プリントに未記入のデータシートを付けて返却します)

作品を出展される会員は、『出展する作品の原板フィルムに、必要事項を全て記入したデータシートを添付』して、11月研究会の最終出展作品審査会までに事務局に到着するように発送して下さい。(大切な原板フィルムの紛失を防ぐため、原板フィルムとデータシートを送付するときには、受領確認票が残るレターパックプラスで発送して下さい)

モノクロ作品の出展に際しては、「展示用の全紙又は大全紙プリントの提出」が必要となります。作品審査に際しては、六切(8x10 $\frac{1}{4}$)プリントを提出して下さい。

出展作品の詳細な応募要領については、8月イメージサークルに同封する予定ですので、今暫くお待ち下さい。

モノクロ部会の7月研究会を以下の日程で開催しますので、ご自由に参加下さい。

日時：7月8日(日) 13:00～16:00

場所：神戸 B&W Lab.

暗室は9時から使用可能です。プリント希望の方は、ネガ持参で午前中から来場下さい。